

アクトロ。ホリスの丘の麓から

—異郷回覧— まだふみもみず……



人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

おおよそ2400年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。

時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、《人間存在をどのようにとらえるか》・《いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか》をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。

この勉強会も6年目を迎えました。今年はギリシア劇以外に、古代ギリシアの食文化についても触れていきます。オンラインでの受講もできますので、関西以外にお住まいの方も参加しやすくなっています。初めての方でも入りやすい講座です。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

アクロポリスの 丘の麓から

——異郷回覧——まだふみもみず……

レクチャーの概要(全12回 ※1回のみ参加も受け付けております。)

- 第1回 4月5日(火) 東方の都——アイスキュロス『ペルシア人』
- 第2回 4月19日(火) 北辺の港町——エウリピデス『タウロイ人の地のイピゲネイア』
- 第3回 5月10日(火) 西の鬼ヶ島——エウリピデス『キュクロプス』
- 第4回 5月24日(火) 君知るや南の国——エウリピデス『アンドロメダ』(大断片)
- 第5回 5月31日(火) ★古代ギリシアの食文化(1)——肉とパン
- 第6回 6月21日(火) 古戦場(1)——エウリピデス『ヘカベ』
- 第7回 7月5日(火) 古戦場(2)——エウリピデス『トロイアの女たち』
- 第8回 7月19日(火) 故郷は遠くにありて——エウリピデス『ヒポリュトス』
- 第9回 8月23日(火) ★古代ギリシアの食文化(2)——1泊研修旅行(淡路島を予定しています)
- 第10回 11月15日(火) マケドニア現地取材——エウリピデス『バックス教の信女たち』
- 第11回 11月29日(火) エジプト経由——エウリピデス『ヘレネ』
- 第12回 12月13日(火) ★古代ギリシアの食文化(3)——魚

(★は、古代ギリシアの食文化について学びます。)

前5世紀後半はギリシア悲劇全盛期でした。当時のアテナイ市民にとって劇を見ることは日常生活の一部でした。劇場で精神的葛藤を体験する一方で、もちろん毎日彼らは肉魚ワインを飲んで食べていたわけです。ところが面白いことに、作品には登場人物が食事する場面が出てきません。観客は昼時に弁当を使っているのに。ところで今回取り上げた作品にはアテナイを遠く離れた場所が多く登場します。わたしたちは諸方を放しながら観光地巡りと洒落るわけです。ただし食べることも、どうぞお忘れなく、グルメの旅でもあるのですから。

丹下和彦

■講師:丹下 和彦(大阪市立大学名誉教授・古代ギリシア文学者)

■レクチャーの形態:

対面型(会場:一心寺存牟堂)とオンライン型の併用

(※COVID-19の広がりによっては、対面型レクチャーを中止する場合がございます。劇団ウェブサイトにて、随時開催状況に関する情報をお知らせしますので、ご確認ください。)

■時間:19時~21時30分(途中休憩あり)

■料金:1回1,500円(税込み)

オンラインによる受講をご希望の方には、チケット購入確認後、勉強会前日までに<Zoomのアドレス>をお送りします。

■対象:演劇経験不問

ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。

■お申し込み方法:

【クレジットカード/PayPayをご利用の場合】



PassMarketより「清流劇場」を検索し、ご購入ください。
<購入/申込完了>の自動返信メールをお送りします。

【銀行振込の場合】



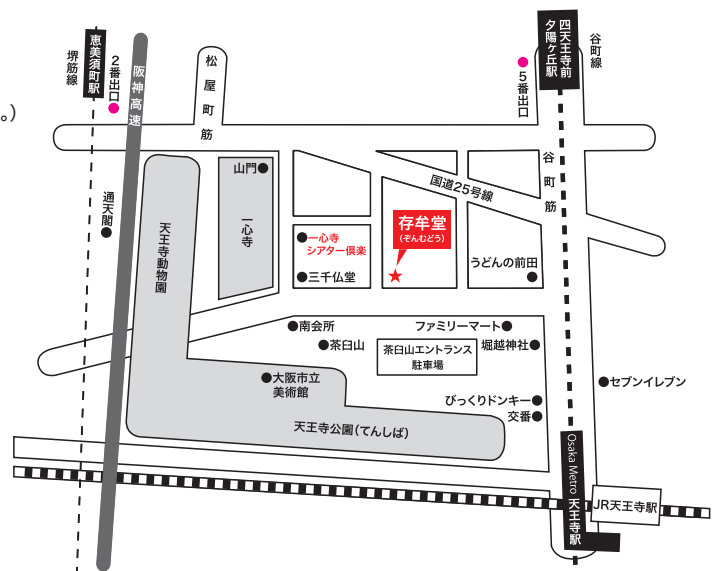
劇団メール宛に、
①お名前、②ご連絡先(電話番号・メールアドレス)
③参加希望日と受講形態(対面型・オンライン型)をお知らせください。
折り返し、<振込先口座のご案内>メールをお送りしますので、お手続きをお願いします。

■申込締切日:各回実施の2日前

■お問い合わせ:清流劇場

e-mail:info@seiryu-theater.jp phone:080-2487-1347

web:https://seiryu-theater.jp



■会場:一心寺 存牟堂(ぞんむどう)

〒543-0062 大阪府大阪市天王寺区逢坂2-4-13
*各線「天王寺駅」、Osaka Metro谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」、
堺筋線「恵美須町駅」より、徒歩約10分。
*お客様用駐車場はございません。
*お車で越しの場合は近くのコインパーキングをご利用ください。
*会場のお問い合わせ:清流劇場 phone:080-2487-1347

■デッサン:政野裕果

■企画・制作:一般社団法人清流劇場

■協力:一心寺シアター倶楽